

# 子どもの事故やケガ・救急

## 子どもの事故やケガ対処法

赤ちゃんは「なんだろう?」と思ったら、触って、なめて確かめます。その好奇心や探求心を「ダメよ」と言ってとめるのではなく、赤ちゃんが思う存分手を伸ばしても大丈夫な安全な環境づくりをしておきましょう。

### 転落

意識がない→からだを動かさない。救急車で医療機関へ。  
機嫌が悪い、泣かない、ぐったりしている、嘔吐がある、激しい頭痛など異変がある場合はすぐに受診が必要です。

### やけど

すぐに流水で十分冷やす。衣類は無理に脱がさず、服の上から流水で冷やす。(低体温症に気をつける。) 水ぶくれはつぶさないように気をつけて。

### 窒息

ひざの上で頭を下にして、うつぶせにする。背中を強く数回たたく。

### 誤飲

誤飲した物により対応が異なるため、何をどのくらい飲んだのか、子どもの状態(顔色、けいれん、嘔吐など)をチェック。飲んだ疑いのあるものを医療機関に持っていきましょう。

誤飲誤食の情報は(公財)日本中毒情報センター 大阪中毒110番(365日24時間対応)

☎072-727-2499

つくば中毒110番(365日9時~21時対応)

☎029-852-9999

タバコ専用電話(テープによる情報提供)

☎072-726-9922(無料)

<http://www.jp-poison-ic.jp/>

### 溺れる

呼吸が弱い・ない場合は心肺蘇生法を行う。同時に救急車の手配をしてください。

## 乳幼児揺さぶられ症候群

赤ちゃんは激しく揺さぶられると、首の筋肉が未発達なために脳が衝撃を受けやすく、脳の損傷による重大な障害を負うことや、場合によっては命を落とすことがあります。赤ちゃんが泣きやまず、イライラしてしまうことは誰にでも起こり得ますが、赤ちゃんを決して揺さぶらないでください。万が一、激しく揺さぶった場合は、すぐに医療機関を受診し、その旨を伝えましょう。

### 乳幼児揺さぶられ症候群を防ぐために

厚生労働省広報啓発DVD▶

- 無理に泣きやませようと激しく揺さぶらない
- 泣き声が周囲に聞こえないように赤ちゃんの口をふさがない
- 赤ちゃんの「泣きの特徴」と「激しく揺さぶってはいけないこと」を家族に知ってもらいましょう
- 泣かれてイライラするのはみんな一緒です。赤ちゃんのお世話をする全ての人に揺さぶりの危険性を知ってもらいましょう
- ご近所にも赤ちゃんの泣きの特徴を知ってもらいましょう



## 乳幼児突然死症候群(SIDS)

乳幼児突然死症候群(SIDS)は、それまで元気だった赤ちゃんが、事故(窒息など)ではなく眠っている間に突然死してしまう病気です。原因はまだわかっていませんが、下記のような点を日頃から心がけることで、発生率を減らせることが研究で明らかになっています。

- ① 赤ちゃんを寝かせるときは、おお向け寝にしましょう。ただし、医学的な理由から医師がうつぶせ寝を勧める場合もあるので、このようなときは医師の指導を守りましょう。
- ② 妊娠中や赤ちゃんの周囲では、たばこを吸ってはいけません。
- ③ できるだけ母乳で育てましょう。

## 救急車を呼ぶ前に(埼玉県救急電話相談・埼玉県A I 救急相談)

埼玉県では、急な病気やけがの際に、家庭での対処方法や医療機関への受診の必要性について、看護師が電話で相談に応じる埼玉県救急電話相談(#7119)や、AIを活用したチャット形式で気軽に相談が可能な埼玉県AI救急相談を導入していますので、判断に迷ったときなどご利用ください。

※相談時間 24時間365日

### ●埼玉県救急電話相談

☎#7119

☎048-824-4199(ダイヤル回線・IP電話・PHS・都県境の地域でご利用の場合)

### ●埼玉県AI救急相談

<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0703/aikyukyu.html>

※ご利用上のお願ひ

この電話相談等は医療行為ではなく、電話等でのアドバイスにより、相談者の判断の参考としていただくものですので、あらかじめご理解の上、ご利用ください。

お問合せ 埼玉県保健医療部医療整備課 ☎048-830-3559

便利なサイト「こどもの救急」…PCアドレス <http://kodomo-qq.jp>

携帯アドレス <http://qqm.jp>

夜間や休日などの診療時間外にすぐに病院を受診するかどうか、様子を見るかなどの「判断の目安」を提供しています。生後1か月～6歳が対象。

発熱、けいれん・ふるえ、吐き気、せき・ぜえぜえする、腹痛・便秘、皮膚のブツブツ、下痢、泣き止まない、おしっこが出ない、意識がおかしい、耳をいたがる、頭痛、誤飲、ウンチが変、鼻血、動物にかまれた、虫に刺された、やけど、頭を強くぶつけた・・・



監修:厚生労働省研究班/公益社団法人日本小児科学会

## 救急車を呼ぶ時は119

### ●「正しい119番のかけ方」

火災、救急は1分、1秒を争います。119番通報は、災害発生を知る大切な窓口です。火災、救急の場合、あわててしまい場所や災害の状況をうまく伝えられずに切ってしまうことがありますので、まず落ち着いて問かけに答えるようにしてください。119番通報で大切なことは次の4点です。

①火災・救急の別 ②災害発生場所 ③災害の状況 ④通報者の氏名、連絡先

### 聴覚や言語機能に障害がある方の通報手段

#### ●FAX119

救急車を要請、あるいは火災を通報するときは、「緊急通報カード」に通報内容を記入し、FAXで119番通報してください。

#### ●NET119緊急通報システム

スマートフォンや携帯電話のインターネット機能を使って、簡単な操作で救急車の要請、火災の通報をするシステムです。朝霞市、志木市、和光市、及び新座市に在住、在勤または在学で、事前登録をされた方が利用できます。

※詳しくは、消防局ホームページをご確認ください。<https://www.kennanseibu119.jp/firedepartment>

お問合せ 埼玉県南西部消防局指令統括課 ☎048-460-0123

## 救急医療情報が知りたい時は

- 埼玉県救急医療情報センター ☎048-824-4199

24時間体制で医療機関を紹介します。

- 埼玉県南西部消防局 火災・病院案内 【専用電話】☎048-461-8181

当消防局管内で発生している火災案内と受診可能な病院案内を自動音声により案内します。

※受診される場合は、直接病院にご確認ください。

## お医者さんの上手なかかり方

### かかりつけ医をもちましょう。

○「かかりつけ医」とは気軽に健康相談や、病気の相談にのってくれるお医者さんのことです。

○かかりつけ医は普段の子どもの様子をわかっていて、その子の病気や薬のことだけでなく、予防接種や育児の不安についても相談にのってくれます。

○必要なときには適切な病院やお医者さんを紹介してもらうこともできます。  
できるだけ診療時間内に受診しましょう。

○昼間、子どもの体調がおかしいと思ったら、早めにかかりつけ医に診てもらいましょう。

○休日や夜間の救急病院はあくまで緊急事態に備えるためのものです。夜間の急な発熱やおう吐など緊急を要するとき以外は診療時間内に受診しましょう。

